

愛知大学国際中国学研究センター主催 国際シンポジウム

多角的観点からみた日中戦争

社会歴史的アプローチ班担当

開催日 2014年3月8日(土) 10:00～18:10 受付9:30開始

会場 愛知大学名古屋校舎厚生棟3階W31・W32 聴講無料

名古屋市中村区平池町4-60-6

10:00-10:10 開会挨拶

高橋 五郎 愛知大学国際中国学研究センター所長

10:10-11:10 呂 芳上 台湾・国史館館長

第二次世界大戦期中国のカイロ会談参加と東亜秩序再構築の構想
—蒋介石日記にもとづく討論—

11:10-12:10 楊 奎松 北京大学・華東師範大学教授

抗戦期間敵後方農村の国共両党の力の比較
—晋(山西省)東南地区の農村における国共の力の消長を主要な考察対象として—

12:10~13:00 休憩

13:00-14:00 森 久男 愛知大学経済学部教授

日中戦争史をどのように研究するのか

14:00-15:00 菊池 一隆 愛知学院大学文学部教授

『万宝山・朝鮮事件』の尋問調書・裁判記録からのアプローチ

15:00~15:10 休憩

15:10-16:10 三好 章 愛知大学現代中国学部教授

汪兆銘の『満洲国』訪問

16:10-17:10 馬場 毅 愛知大学現代中国学部教授

八路軍の兵員拡大について—山東抗日根拠地を中心に—

17:10-18:00 全体討論

司会 馬場 毅 愛知大学現代中国学部教授

18:00-18:10 閉会挨拶

馬場 毅 愛知大学現代中国学部教授



【お問合せ・申込先】

愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)事務室
〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60番6
TEL:052-564-6120(月～金/9:00-17:00)
FAX:052-564-6220 E-MAIL:iccs-sympo@ml.aichi-u.ac.jp